

令和7年度「地域課題解決のための政策アイデアコンテスト」地域課題

地域課題 1	熊 本 県
課題タイトル	熊本県内への移住定住に関する取組について
課題の概要 (背景や理由等)	<p>総務省が公表した住民基本台帳人口移動報告(令和6年)によれば、新型コロナウイルス感染症の収束により、都市圏への人の流れが再加速し、転入超過となっているのは東京都、神奈川県、埼玉県など7都府県となっている。(福岡県含む)</p> <p>本県の状況を見ると、令和6年は、他都道府県間で1,542人(男性363人、女性1,179人)の転出超過となっており、超過幅は前年と比較して縮小しているものの(前年は1,624人の転出超過)、地方移住の関心の高まりに合わせ、特に若年層をターゲットに、熊本への人の流れを加速させ、県内で定住する人を増加させる必要がある。(県内への流入増と、県外への流出減を図る)</p> <p>そこで様々なデータを分析し、必要に応じて、フィールドワークやインタビューを実施し、若者だからこそ気づく独自の政策を検討し提案していただきたい。</p>
備考	<p>(1)熊本県移住定住ポータルサイト https://www.kumamoto-life.jp/</p> <p>(2)ラブくまプロジェクト(関係人口創出) https://lovekumapj.jp/</p> <p>(3)熊本県空き家バンクプラットフォーム https://kumamoto-akiya360.jp/</p> <p>(4)くまもと UIJ ターン就職支援サイト https://kuma-turn.jp/</p> <p>(5)くまラバ！(熊本県出身者向け公式 LINE) https://line.me/R/ti/p/@501akq wz</p> <div style="text-align: right;">  <p>くまラバ！</p> </div>

地域課題 2	熊 本 市
課題タイトル	熊本市における地域コミュニティのあり方について
課題の概要 (背景や理由等)	<p>本市では、まちづくりの原点を「地域」、そして、そこに暮らす「市民」とし、互いに支え合う成熟した地域社会を基盤としたまちづくりに取り組んでいる。</p> <p>平成28年熊本地震や新型コロナウイルス感染症の流行といった未曾有の危機は、人と人、地域やコミュニティのつながりが、困難を乗り越え、心豊かな生活を送るために不可欠であることを再認識する契機ともなった。</p> <p>一方で、少子高齢化、人口減少に伴う社会経済情勢の変化に加え、市民の価値観やライフスタイルの変容により、自治会等の加入率の低下や地域の担い手不足が懸念されるなど、市民ニーズや地域課題がますます複雑・多様化している中で、持続可能な地域コミュニティのあり方は変化していくものと考えられる。</p> <p>そこで、将来を担う学生の皆様に、以下の〈本市がめざすまちの姿〉を踏まえ、未来の本市における地域コミュニティのあり方及びそれを実現していくために必要な政策についてご提言いただきたい。</p>

	<p><本市がめざすまちの姿></p> <p>豊かな自然と歴史・文化に恵まれ、あたたかいふれあいに満ちた地域の中で、お互いに支え合いながら心豊かで幸せな暮らしが営まれ、災害に強くだれもが安心して暮らせるまち。</p> <p>そして、市民一人ひとりが、自分たちが暮らすまちに誇りを持ち、夢や希望を抱いて、いきいきと多様な生活を楽しんでいるまち。</p> <p>そのような、市民が住み続けたい、だれもが住んでみたくなる、訪れたくなるまち、「上質な生活都市」を、私たちは目指します。</p>
備考	<p><アイデアを考える際の参考となる資料></p> <p>・熊本市第8次総合計画(本編) https://www.city.kumamoto.jp/kiji00361129/3_61129_424227_up_0nqkgco2.pdf</p> <p>・熊本市第8次総合計画(概要版) https://www.city.kumamoto.jp/kiji00361129/3_61129_424228_up_27mv2qmw.pdf</p> <p>・熊本市人口ビジョン(令和6年3月改訂版) https://www.city.kumamoto.jp/kiji00354557/5_54557_390175_up_P44A2J3G.pdf</p>

地域課題3	自由設定 : 自ら地域課題を設定して取組む
	<p>熊本県と熊本市から提示される地域課題に加えて、普段「政策」という言葉に馴染みのない学生の皆さんにも参加を検討してもらうため、皆さん自身が地域課題を設定する「自由設定」という選択肢を設けました。県内には様々な地域課題があります。例えば、環境問題、自然災害、少子高齢化、交通渋滞と公共交通機関の衰退、第一次産業の後継者不足、文化財の保存、伝統行事の衰退などなど、皆さんの身の回りに数多く存在します。</p> <p>そこで、学校の授業を通して、また何気ない日常生活の中で気づいた地域の課題を、ご自身の専門分野の知識やボランティア活動等を通して得た経験などを活かして、解決に導くアイデアを「政策」として提案してください。「政策」には、いろいろな定義がありますが、ここでは、「いま、そこにある問題を具体的にどのような手段で解決していくか」ということだと思います。決して他人事でも、大それたことでもありません。「目からウロコ」的な「政策アイデア」を期待しています。</p>
備考	<p>自治体やコンソーシアムが主催する政策アイデアコンテストのサイトも参考にしてみてください。(以下は一例です)</p> <p>(1) 第4回地域課題解決のための政策アイデアコンテスト(大学コンソーシアム熊本) https://consortium-kumamoto.jp/chiiki/idea2024/</p> <p>(2) 令和6年度かごしまを元気にする学生政策アイデアコンテスト(鹿児島県) https://www.pref.kagoshima.jp/ac11/kensei/keikaku/chihousousei/resas/r4ideacontest.html</p> <p>(3) 第12回学生政策提案フォーラム in さいたま (さいたま市) https://www.city.saitama.lg.jp/006/007/002/012/002/003/p117956.html</p> <p>(4) 2024年地域課題研究ゼミナール支援事業・成果報告書(大学コンソーシアム石川) https://www.ucon-i.jp/newsite/jigyuu/chiikikadai/index.html</p>